

# 竹久夢二

大正ロマンを象徴する画家であり、日本のグラフィックデザイナーの先駆者としても名高い竹久夢二の作品は、長い年月を経た今日でも高い人気を博しています。竹久夢二のデザインの特徴でもあるノスタルジックで可憐なテイストはそのままに、ふろしきとして現代の暮らしにフィットするよう、カラーリングやレイアウトを丁寧に検討しながらデザインしています。むす美のなかでも長い歴史を持つシリーズのひとつです。



竹久夢二がのこしたデザインの中でも人気のつばき柄のふろしきは  
20年以上続くロングセラーです。

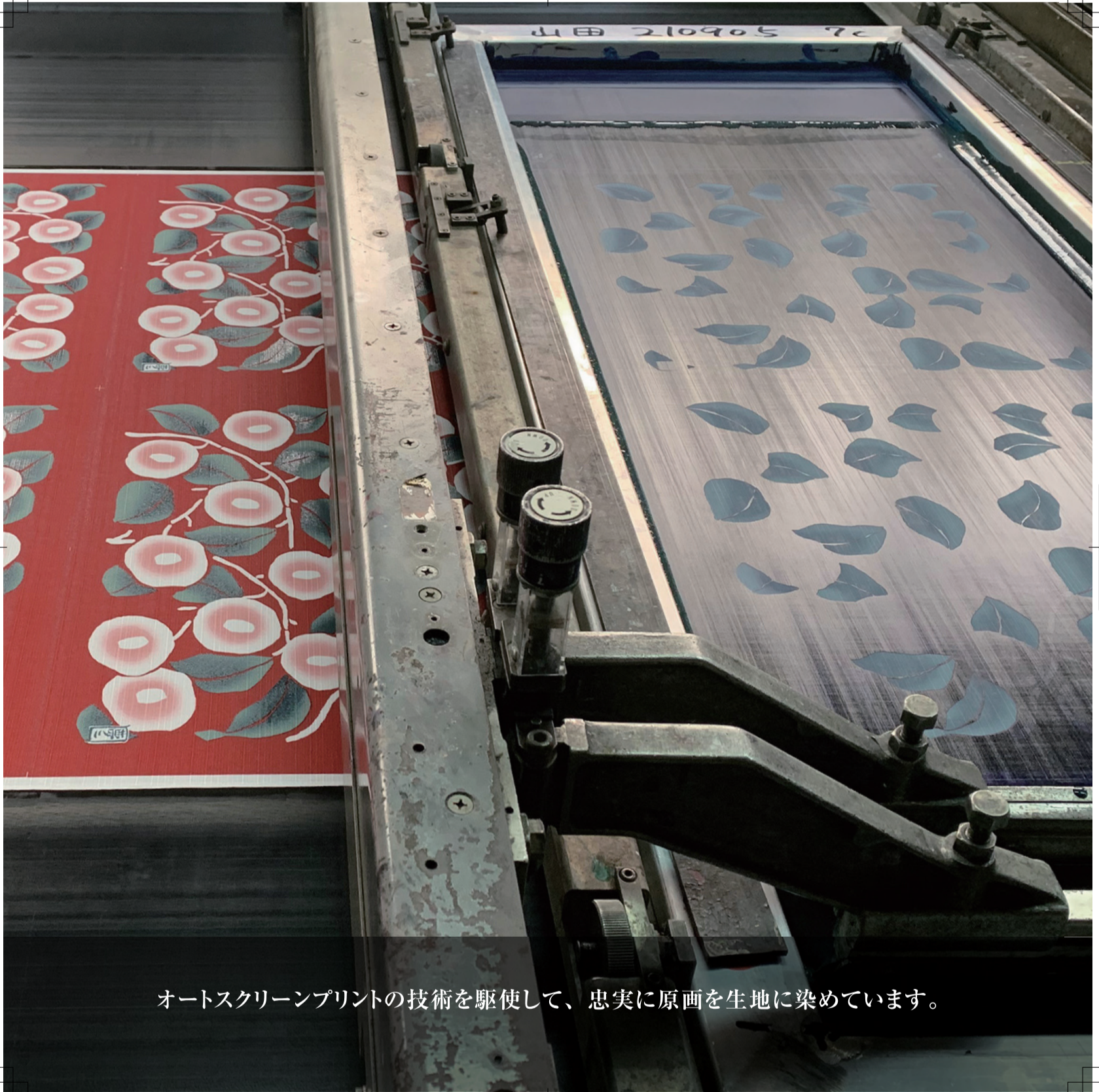


ふろしきの左側は無地の部分を作ることによって包んだ際に変化を楽しめます。  
ネコの位置もポイントです。

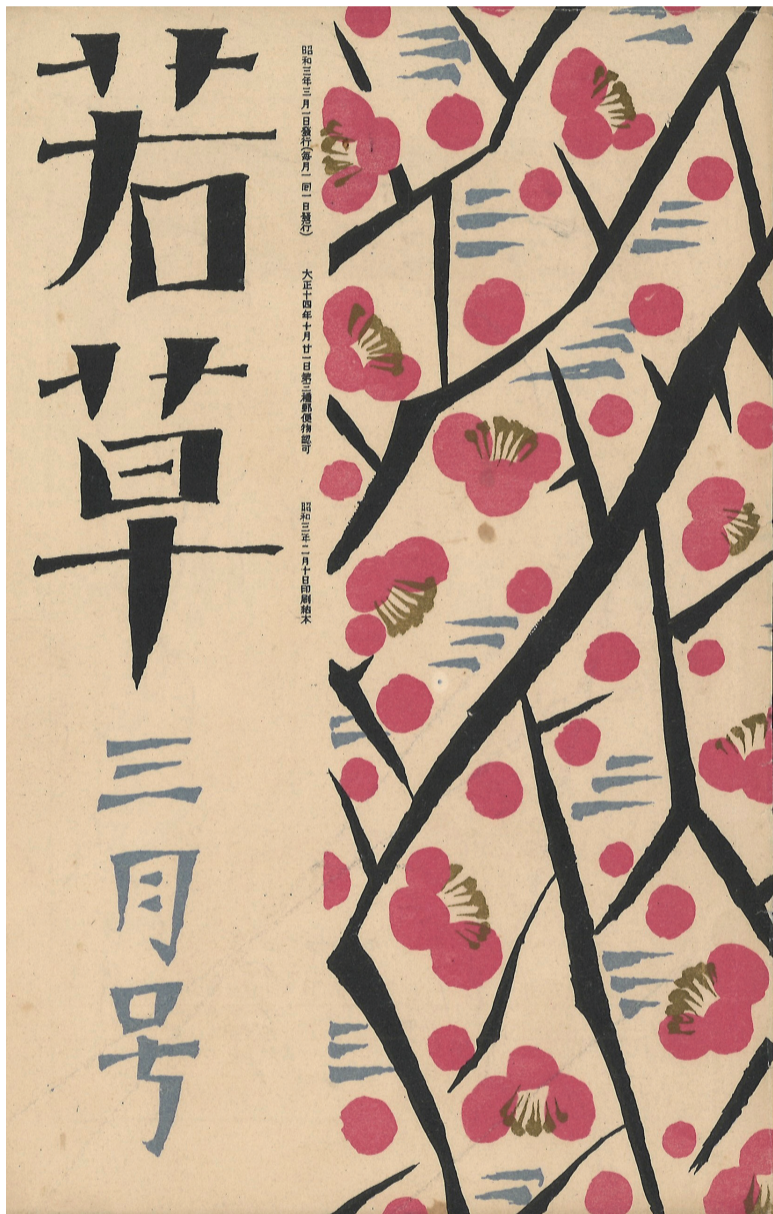


生地

旧式織機で織った耳付きの生地を使用し、昔ながらの天地縫いでふろしきに仕上げています。



オートスクリーンプリントの技術を駆使して、忠実に原画を生地に染めています。



文芸雑誌「若草」の表紙のために夢二が書き起こした梅のデザイン。  
夢二の人気モチーフであるネコもポイントです。